

～「ゆたかな心とたしかな力をめざして」 よりよい学校づくりにつなげる～

I 「ゆたかな心」を育てる ～「傘立てを昇降口に」～

1. なぜ「傘立てを昇降口に」なのか

この目標は単に傘立ての位置を教室から昇降口に変えるというものではない。学校全体の体制を整え、安心して、しかも当然のこととして「昇降口に傘立てを置ける学校」をつくるための目標である。

生徒が安心して生き生きと活動する中でゆたかな心を育てることをめざして、学校の様々な教育活動や教育環境を改善するための指標として掲げたものが「傘立てを昇降口に」である。

2. 基本となる考え方と達成するために重点とする活動

①教職員と生徒との信頼関係づくり

- ・困った時に教職員に相談にくる関係づくり 生徒の不安や相談に対する心構え
- ・何か起きた時の教職員の適切な対応 しっかりと向き合う
- ・教員の言葉遣い 言葉の質をあげる

②生徒同士の信頼関係づくり

- ・お互いに認め合う関係づくり
- ・生徒同士の活動を重視した人間関係づくり

③安全への意識づくり

- ・学習に適した環境整備 生徒も教員も整理整頓
- ・危険な状態（濡れている廊下や階段、破損などの異常）を放置しない
- ・廊下を走らない

④道徳教育での意識づくり

- ・「自由と責任」「節度・節制」「思いやり・感謝」「礼儀」「公共心」を重点とした全体計画作成
- ・重点を念頭においた道徳教育の実践

⑤生徒のことは生徒にまかせる場面づくり

- ・生徒に考えさせる場面の設定
- ・上位目標を持つことで誇りを持たせる
- ・自分たちで管理させる
- ・委員会活動・部活動の活用

⑥昇降口に傘立てを置くためのシステムづくり

- ・持ち物に記名させる
- ・借りたものを返す習慣をつけさせる
- ・落とし物置場の整備、貸出グッズの用意

Ⅱ 「たしかな力」を育てる授業 ～「教えて考えさせる授業」に魂を吹き込む 教員の言葉を削り、生徒の活動へ～

1. 「教員の言葉を削り、生徒の活動へ」によって期待される効果

- ①教員の言葉を削ることで要点がわかりやすくなり、理解することで生徒の自信につながる
もっと知りたいという学習意欲や深く学びたいという原動力になる
- ②生徒の活動が増えることで、生徒の関係性が増える
- ③生徒の活動が増えることで考える機会が増え、質問や課題解決の力がつく
- ④教員の言葉を削ることで生徒の聞く姿勢が形成され、生徒の活動が増えることで言葉で伝えようとする姿勢が身につく
- ⑤教員が言葉を削ることによって、教員の言葉が磨かれる

2. 本時もしくは単元で育てるべき力の明確化

- ①困難度査定に基づき、本時目標の明確にするとともにシンプルにする
「何を」「どのくらい」「どのように」を明確にする
- ②生徒にわかりやすい言葉で「めあて」として示す。

3. 「教師の説明」の焦点化

- ①授業（単元）の流れや学習順序を生徒に示す
- ②内容を精選するとともに、視覚化などによって提示方法を工夫する
- ③導入を工夫する

4. 「理解確認」の方法の工夫

- ①スモールステップに配慮し、ペアワークの方法や構成を工夫する
- ②ペアワークの活性化につながる雰囲気づくりと時間確保に留意する

5. 「理解深化」の工夫

- ①すべての生徒が取り組める理解深化の課題を工夫する
- ②ルーティン化とともに多様なグループ形態を工夫する

6. 「自己評価」の工夫

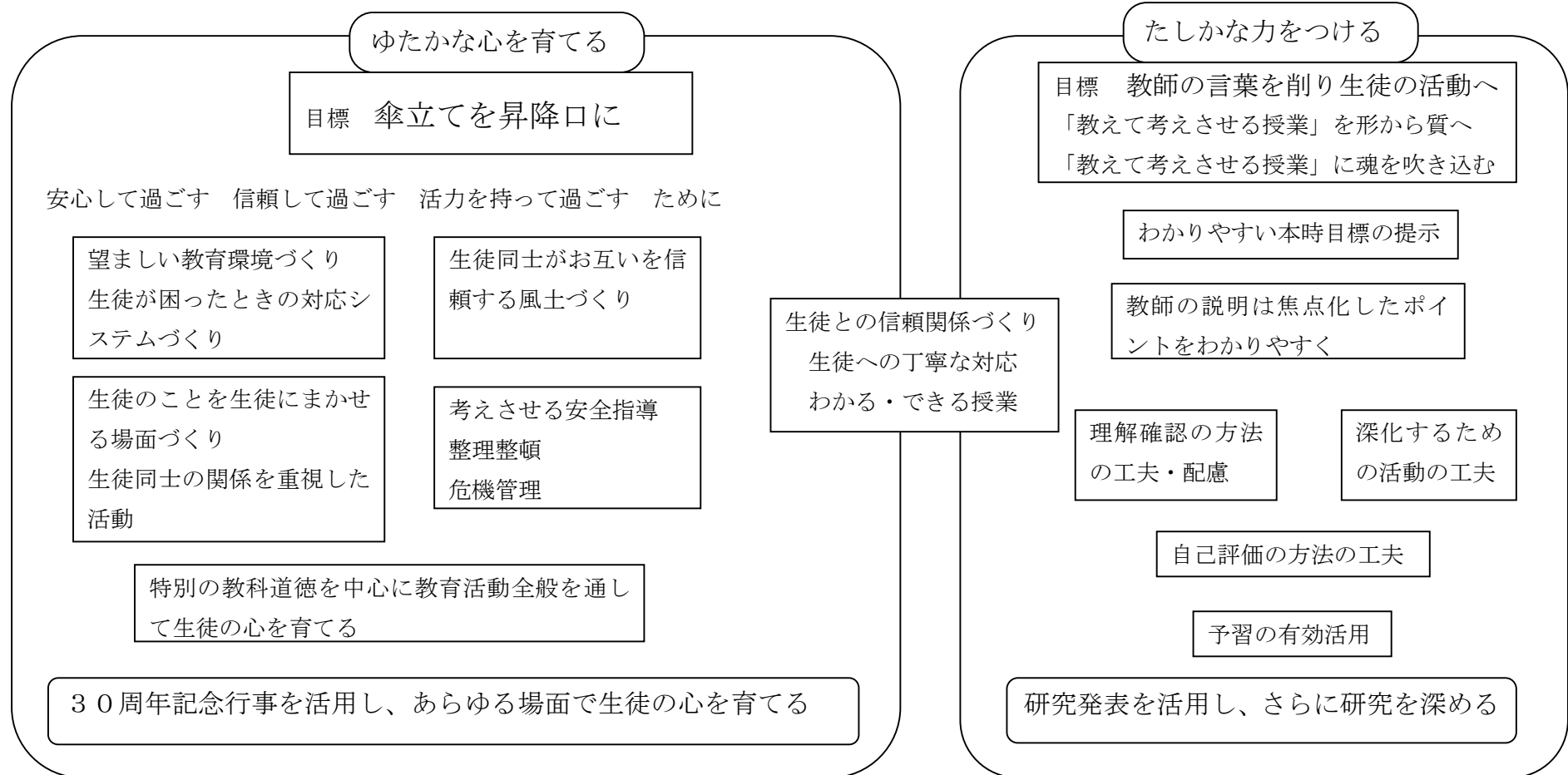
- ①自己評価のポイントを明らかにする
- ②フィードバックや相互評価を取り入れ、次の学習につなげる

7. 予習の有効活用

- ①予習を活用することで「教師の説明」の精選につなげる
- ②授業における「わかる」という実感を予習の意欲につなげる

平成30年度 学校経営方針グランドデザイン

学校教育目標 ゆたかな心とたしかな力をめざして ~よりよい学校づくりにつなげるために~



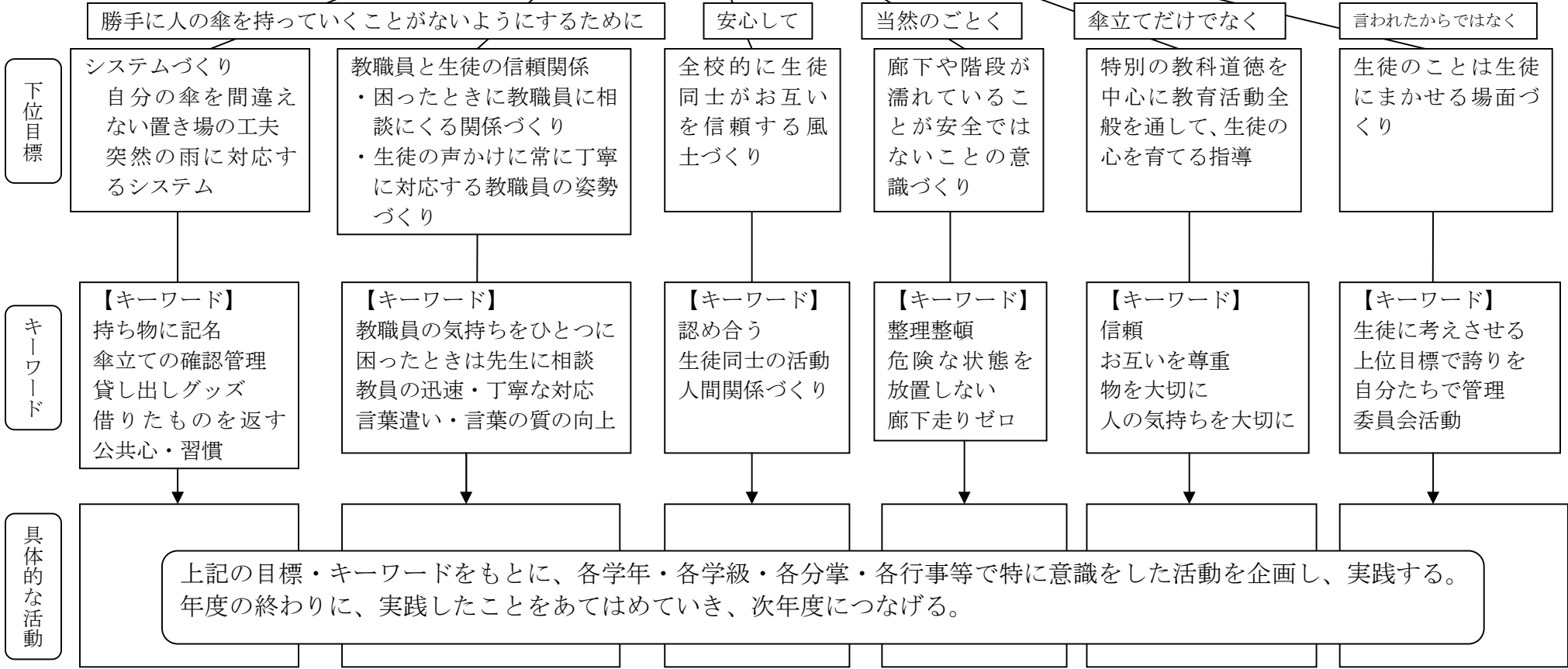
ゆたかな心 のデザイン

この目標は単に傘立ての位置を教室から昇降口に変えるというものではない。
安心して、しかも当然のごとくに**昇降口に傘立てのおける学校**にするための目標である。

向上目標

傘立てを昇降口に

下位目標が達成されたときに必然的にこの目標が達成されるという図である。
それが達成できたときに学校の様々な教育環境が改善されることになるという意味での**向上目標**である。



たしかな力のデザイン

【期待される効果・影響】

- 要点がわかり、理解できる→自信につながる
- もっと知りたいという学習意欲
- 深く学ぼうという原動力 背景を考える
- 生徒同士の活動が増える→関係が増える
- 考える機会が増える 質問や課題解決へと
- 聞く姿勢・言葉で伝えようとする姿勢
- 教師のことばが磨かれる etc.

達成目標

教員の言葉を削り、生徒の活動へ
「教えて考えさせる授業」を形から質へ
「教えて考えさせる授業」に魂を吹き込む

予習
予習活用で説明を簡略化
わかる実感が予習の意欲に

